

# ワクチン終了まで停戦

AMDA活動報告

## 救える命があれば

どういふでも

□6□

菅波 茂



AMDAの平和の定義。それは「今日の家族の生活と明日の希望」が実現できる状況を指す。明日の希望とは子どもに教育を受けさせることである。親にとって絶望的な状況になればなるほど、いとしい子どもが厳しい世の中で生存するのに不可欠な教育を受けさせることが希望である。

AMDAは「医療和平」

というコンセプトを提唱している。それは紛争の当事者同士が医療を通して信頼を醸成し、和平を構築することを目的としている。医療の対象は子

## 医療和平

どもたちである。紛争当事者であるすべての成人にとって、子どもは明日の希望である。誰も明日の希望を失いたくない。これが「医療和平」の原点である。

一九九九年。アフガニスタンの国土の95%を支配していたタリバンの公共保健大臣であるアッバス師と、5%の国土を死守していた北部同盟の外務副大臣であるアブドゥーラ氏が時期を違えてAMDA本部がある岡山にきた。「アフガニスタンのすべての子どもたちにワクチンが終了するまでAMDAに対する信頼、

た。

アフガニスタンは約四十年にも及ぶ内戦で国中の難民キャンプのようであった。難民キャンプではワクチン接種がなく、子どもの25%がそのために死亡する。当事者同士が明日の希望である子どもたちの命の大切さを認めたのである。二〇〇一年九月十一日の米国同時中核多発アロに対する米国の報復によりタリバン政府は消滅した。医療和平は実現半ばにして中断を余儀なくされたが、子どもの命の普遍性に対する共鳴、NGOとしてのAMDAに対する信頼、

## 敵同士が「命の尊厳」共有



健康新聞を使って保健衛生の知識と平和へのメッセージを伝える=3月、スリランカ

するというメッセージを届けるためだった。ここでは、AMDA健康新聞という新機軸を試みた。英語、シンハラ語そしてタミル語で書いた「手を洗おう、歯をみがこう」などの保健衛生教育に双方の政治的指導者からの和平へのメッセージを添えていた。

そして復興に向けた日本政府に対する期待に支えられていた。政府と、反政府であるタミル・イーラム解放のトラフ(LTTE)そしてイスラムの三グループに日本が公正に復興支援をするというメッセージを届けるためだった。AMDA健康新聞という新機軸を試みた。英語、シンハラ語そしてタミル語で書いた「手を洗おう、歯をみがこう」などの保健衛生教育に双方の政治的指導者からの和平へのメッセージを添えていた。スリランカは識字率が80%以上の国である。小学校児童が家に持ち帰ったAMDA健康新聞を親たちが喜んで読んでくれた。子どもたちが一番興味を示したのは、互いが描いた絵だった。子どもから子どもへのメッセージである。紛争はとかく相手を卑下する。しかし、AMDA健康新聞は紛争相手の子ども同士がお互いに良き関

この連載は毎月第四日曜日に掲載します。

AMDA(アジア医師連絡協議会)理事長